

CONTENTS

同窓会の行事	1	平成9年度同窓会会計報告	4
同窓生の活躍	2		
クラブOB会の活動	3		
同窓会事務局より	4		

同窓会の行事

学園祭・写真展にて

☞ 98年10月3～4日に行われた湘南学園中高の学園写真展に
出展して



同窓会が学園の視聴覚教育室（新館3F現中学教育室の上）
で写真展を開催するのは初めてのことでした。

展示スペースは一般の教室よりも広い使いやすい教室をご提
供いただいたこと同窓会として感謝いたします。

当日の来場者は、2日間で約770名が記録上の数字ですが、
実際には800名以上の父母、OB、在校生ほか一般の方々に
とめどなくご来場いただき、以前小学校の教室を借りて写真展
を行った時よりもたくさんの方々に来ていただきました。

内容的には、30周年、40周年等の記録や湘南学園ができた
頃の昭和10～20年代の写真、ここ20年間の校舎や近隣
風景の変化、学園の校章の変遷や、今はなくなってしまった記
録会の表彰バッチの写真、各年代の同窓会スナップなど数多く
の資料も展示しました。

在校生の来場は10月3日の土曜日に多く、昔の学園校舎や、
校歌、校章など歴史的なものに興味を示しているようでした。
さすがにOBの方々にはなつかしい写真や友人をその中に見つけ
たり、在校時代の先生の姿を見て、一瞬の間、在校時代にタイム
スリップされていたようです。

また、一般の方の中には、来年以降我が子を学園に入学させ
たいとのご意向から見学かたがた家族で学園祭を見に来られた
という方たちもかなりおられました。そういう方たちは私たち

同窓生とも積極的に会話を交わし、現在の学園のこと同窓生の
ことなど、いろいろなことを聞かれていましたが、その一部を
紹介いたします。

▽これから父母になるかもしれない親の立場として！！

学園祭では湘南学園の今は理解できるが、こうしたイベント
はどここの学校でも最近は大差はない。

OBルームには、学校の歴史など興味ある資料もあるし、学
校と同窓会と先生とのつながりも興味深い（横浜の方）。

▽来年子供を受験させようと思って！！

校風や生徒の感じだけでなく、OBや学校の歴史が見学でき
て参考になった。受験させることにします（川崎の方）。な
どです。

また、来場されたOBの意見として、

▽各卒業年次のクラス名簿なども展示して欲しい。（当然学園
内にはある筈だろう？）それがあるとすぐに友人を見つける
ことができるし、なつかしいから。

▽この年になると3階へあがってくるのは息が切れる。できれ
ば1階で場所を作って欲しい。

▽常設の同窓会ルームがあるのであれば、そこでできないのか。
など多数のご意見をいただきました。

同窓会では来年も写真展を行います。古い同窓生の方々より
懐かしい写真のご提供がいただければ幸いです。

どうぞ宜しくご協力お願いいたします。

（学園祭写真展、実行委員より）



☞ 尾高忠明氏（中14回卒）97年7月24日に
英国CBE（最優秀英帝国勲章）を授与さる



1997年7月22日付で『尾高忠明、英国でCBE（最優秀英帝国勲章）を授与さる』と発表されました。以下は尾高氏のロンドンのマネージャーから届いたニュース・リリースを訳したものです。

英国エリザベス女王は、外務大臣の助言に基づき、尾高忠明氏を「最優秀英帝国勲章」（CBE、コマンダー賞 — 等級は第3位）に叙せられた。この名誉は、尾高氏が長年にわたり、英国のため果たした顕著な功績を称えて女王陛下より授与されたものである。

尾高忠明氏は、BBCウェールズ交響楽団常任指揮者の任にあった際、この楽団の実力を劇的に向上させ国際的な地位を高め、ヨーロッパ、日本、米国等へのツアーを実現させた。桂冠指揮者となっても、同オーケストラの定期的な客演指揮を欠かさず、BBCプロムスなどに出演した。日本では読売日本交響楽団常任指揮者の任にある他、1995年、東京で紀尾井シンフォニエッタ東京を創設し、非常に高度の演奏水準を発揮するアンサンブルとして評価を確立。主な客演オーケストラには、バーミンガム市交響楽団、ヘルシンキ・フィル、ハーグ・レジデンティ、ロンドン・フィル、BBC交響楽団等がある。

1997年秋には読売日本交響楽団を率いヨーロッパ各地へツアー。ロンドン交響楽団へのデビューは、1997年シーズン後期の予定だが、その他ロイヤル・フィル、オスロ・フィル、ロイヤル・ストックホルム・フィル、バンベルク交響楽団へのデビューが待っている。1997年と98年のプロムスには、BBCウェールズ交響楽団とBBC交響楽団双方を指揮する。

オペラではこれまでウェールズ・オペラによる「サロメ」が高い評価を得たが、来シーズンにはいよいよ日本で「ピーター・グライムス」の公演と録音が行われる。尾高氏のレコーディングはBBCウェールズ交響楽団との演奏が多数ニンバス、BIS、シャンドスでCD化されている。

尾高氏から音楽事務所にあてた手紙

前略 先週、お陰様で素晴らしい時をもてました。ロンドン交響楽団、今回と良い事ばかりで恐ろしい気がします。北海道新聞のために書いたエッセイです。

CBE

それは去年の6月の事だ。2ヶ月ぶりにロンドンの自宅に戻った家内と僕は、いつもの様に郵便物の整理を始めた。中には重要なものもあるが、その殆どはダイレクトメールの類で封も切らずにゴミ箱行きだ。

その封筒も危うくゴミ箱行きであった。外見は良くある茶封筒だが何となく汚れ、郵便料金は2等だった。（英国は郵便に1等と2等があり、僅かに値段が違うスピードも違う。）

そのまま捨てようとした時、裏に書いてあった Her majesty : というのが一瞬目に止まった。「何だろう？」数ヶ月前、高速道路でスピード取締りのレーダーが見事に光ったので、「何時、呼び出しが来るだろう？」と思っていた僕は「遂に来たか！」と思い、封を切ってみた。何やら難しい言葉がいっぱい書いてあり良く判らない。CBEとも書いてあったが、チンパンカンパンなので、マネージャーにそれを送ってみた。それからが大騒ぎだった。すぐに電話が掛かって「おめでとう、おめでとう。」と大声で興奮して叫んでいる。「これは一体全体何なの？」まだ良く判らない僕は「とにかく交通違反の呼び出しではないらしい。」とほっとしていた。しばらくして日本の新聞社などの取材を受けて、初めてそれが大変な勲章だと知った。何でも最高位の勲章で、この上は、ナイトとサーしか無いらしい。英国の友人などは「英国のパスポートを取って、もっと英国で働けばそれも夢じゃない。頑張れ！」と言うが、日本大好きな僕は日本のパスポートだけで結構と思っているが？

大体、英国のオーケストラの仲間が歓喜してくれたのは良いが、少し僕に近づきにくそうで「私達はあなたを誇りに思います。CBE！」等とカシコマッテ言われるのには参った。「僕は何も変わっていない。今までと同様にチュー（僕のあだ名）と呼んでよ。」と懇願したものだ。

授与式は、スケジュール調整が難航し、延び延びになった。僕自身、勲章のことを忘れかけた今年に入って、王室から連絡があった。4月24日のBBCウェールズ交響楽団の70周年の記念コンサートに、チャールズ皇太子がお見えになり、あなたにメダルをお渡しします。」

それが昨夜であった。チャールズさんにお会いするのは4度目だが、本当に気さくで素晴らしい方だ。ユーモアのセンス抜群で、授与式などという堅苦しい感じが無い。素敵なものだった。満員の聴衆が僕のヘタクソなスピーチに大拍手をしてくれて、それが止まらなくなった時には、思わず目頭が熱くなった。家内と11年前の初めてのこのオーケストラの出会いを思い出し、まさかこんな事になるとはね！」と言いながら祝杯をあげた。

テレビも取っていましたし、ラジオは生放送でした。新聞も1面に載っていたそうです。

取り急ぎご連絡まで。

尾高忠明

尾高氏からの同窓会報あての手紙

湘南学園は僕にとって忘れる事の出来ない学園だ。中学の3年間しか在籍しなかったのに思いでいっぱいである。葉山に住んでいた僕は、鎌倉から江ノ電で通った。砂が多かったのも懐かしいし、松並木に囲まれ、何と環境の良い学園だったろう！その上、実に自由で楽しい学園生活！あの校風が僕に音楽の道を選ばせたのだといつも思っている。一人異端児で音楽家になった僕の父以外、学者、実業家が総てだった尾高家としては僕に音楽家以外の道を歩ませたかった。が、中学3年の時、ある演奏会に行つてその晩の内に指揮者になろうと決心した。音楽学校に進み、ウィーンに留学した。英国に居を構えるようになって10年以上。そろそろ日本にゆっくり住みたいなと思ってい

た矢先、昨年、思いも寄らぬ英国の勲章を頂いてしまった。これで、今少し英国滞在を延ばさなくてはと複雑な心境だ。でも、これも、湘南の海を見ながら学園に通っていた頃の決心から始

まったんだなあと思ひ、近い内に江ノ島にでも行ってみたいと思っている。!!

クラブOB会の活動

バスケット・ボール部OB会

湘南学園バスケットボール部の創設は定かな記録がないので明確ではないが、対外試合は現在の体育館ができてから行われた模様である。これから推測すると創設40年程になる。明確なのは女子チームができたのは東京オリンピックの年に高校入学年次の方々が第一期生であり女子部は創設34年になる。因みに(名誉)顧問の中川先生(旧姓吉田)が着任されたのもこの年である。

卒業後も近い世代間でのOB間懇親の機会等はある、この意味ではOB会は以前からあった様ななかった様な形態であったが数年前に有志が発起人となり結成された。

バスケット部OBは前記の創設後経過年次から推定すると300人程度であろうがOB会結成時には大半が音信不通であった。

しかし、バスケット部は伝統的に卒業生が後輩の指導を行っており同年代を越えた面識があったことと有志の方々による努力の結果、現在の会員数(名簿記載数)は200人強を数えるに至った。

OB会は原則年一回開催を目標にしている。OB会の内容は紅白戦と懇親会である。かつて現役の頃は一日何試合かをこなしても苦にならなかったものの年をとってからのバスケットは過酷なものであり、且つボールの重さは想像以上である。試合開始当初は元気旺盛な選手達も試合半ばには選手交代で互いに出場を譲りあう光景が多々ある始末であり、大半は懇親会を目的に集合している。

最近では8月29日に行い、出席者は約30名であった。辛いことに怪我等なく和気あいの内に終了した。

OB会は発足後ほぼ順調に運営されているが会運営の課題は20代から50代迄の世代差の解消努力であると感じている。

湘南学園バスケットボール部OB会会長
井出俊之(昭39年 高13回卒)



硬式テニス部OB会(有志の会)

1998年10月4日(日)。晴天。鶴沼松ヶ岡の母校学園で、「学園祭」が開催されている最中ではありましたが、午後3時、茅ヶ崎では、かつての顧問であられた齋藤宗三先生をお迎えして、テニス部OB会が開催されました。

会場は、この同窓会会報VOL. 3でも紹介された茅ヶ崎駅南口の「鳥仁」(高等学校昭和51年度卒の遠藤仁さんと中学校昭和53年度卒の遠藤孝さん兄弟のお店)で、高等学校の第18回(昭和44年度)卒業から第31回(昭和57年度)卒業の、30代半ばから40代後半のテニス部を愛する紳士?ならびに淑女、20名が集いました。

齋藤先生の御挨拶にはじまり、各自の近況報告、夏合宿の思い出、凹凸著しいテニスコートでの練習、初恋に胸ときめかせた帰り道、諸先輩の方々のお話など、なつかしい青春時代にしばし戻り、楽しく過ごせました。

テニス部のOB会は、7・8年前だったでしょうか、70名近くの卒業生が参加し、藤沢市民会館で開催したことがあります。これは、齋藤先生が定年退職されるということでしたが、実は、これは誤報で、確か退職1年前に開催してしまったのです。今回の開催はそれ以来のことです。今回は、開催が急遽決まった関係で、OB会の全員に連絡できませんでしたので、あくまでテニス部有志のOB会でした。

今後、継続的に、テニスコートでの開催なども企画したいと思っております。つきましては、名簿を作成しますので、同窓会事務局ならびに下記の卒業生に連絡いただければ、幸いです。特に中高は問いません。また、高校の昭和58年度以降の卒業生の方々、よろしくお願ひします。

稲垣 浩(高昭和44年度卒)	☎0463-61-2995
伊藤和之(高昭和46年度卒)	☎0463-61-8601
倉沢条太(高昭和47年度卒)	☎0467-82-3368
稲垣 浩(高昭和44年度卒)	☎0463-61-2995
中野正剛(高昭和50年度卒)	☎045-881-6190
増田要一(高昭和52年度卒)	☎0467-85-1272
剣持伸哉(高昭和55年度卒)	☎0467-47-0586
仲 裕之(高昭和57年度卒)	☎0466-25-9779



同窓会事務局より

☞ 学園創立65周年記念事業のお知らせ

下記の通り、学園創立65周年を記念して、60周年のときと同様にコンサートが開催されます。

入場券は同窓生の分も用意されますが、何席分になるか現在未定です。

入場料は1階¥5000円、2階3500円の予定です。

ご希望者は学園本部事務局までお問い合わせ下さい。(なお、売り切れの際はご容赦下さい)

日時：1998年12月13日(日)午後3時開演予定

会場：藤沢市民会館・大ホール

出演：日本フィル、藤沢市合唱連盟

指揮者：広上津一(学園高校卒、日本フィル正指揮者、イギリス・ロイヤル・リバプール・フィル首席客演指揮者、オランダ・リンブルク交響楽団音楽監督)

曲目：ベートーベン交響曲第9番(合唱付き)

徳永洋明作新曲(学園高校卒)

☞ 同窓会からのお願い

会員の皆様には、日ごろ同窓会の活動にご理解を頂き有り難うございます。

しかし、ご期待に添える活動がなかなか出来ず常任幹事一同申し訳なく存じております。言い訳になりますが、常任幹事一同いまだ現役で働いておりますため、時間が思うように採れないこともひとつの要因です。私達は全てボランティア活動に行っておりますが、できましたら、一線を退かれ悠々自適の方

や大学生で時間がとれる方に是非活動のお手伝いをお願いしたいと切望致しております。

週一日でも、又月に数日でも結構です。ボランティアでご協力いただける方、ご連絡をお待ち致しております。

☞ 専用FAXが同窓会ルームに入りました

今回同窓会ルームにFAXが入りました。これで現在学園事務室の北村さんに兼務で同窓会の仕事をお願いしているのに加えて窓口が2カ所になりました。同窓生のご意見やご要望、住所変更など名簿に関する事、さらに会報で取り扱って欲しい記事、同窓生のお店の紹介、また、現在の学園への事など何でもお寄せください。

FAX番号 0466-29-3669 です。

☞ 会費納入のお願い

毎年、年会費のご協力有り難うございます。今年もこれまでに多くの方々から、ご納入いただきました。皆様の会費は会報発送の約1回分に当てられます。私達会報の係ではより楽しい会報をと頑張っておりますが、それも同窓生からの会費が唯一の運営資金です。

また、次同窓生名簿作成に向け、今年はコンピュータやファクシミリなども導入しました。現在卒業生13000名の卒業生の内65パーセントの約8500名を名簿上把握しております。これからもお役に立てるよう頑張ってお参りたいと存じます。

会報発行や名簿の整理・作成のため、年会費のご協力をよろしくお願い致します。なお、今回から振込用紙の金額欄に2000円の金額を入れてお届けいたします。

平成9年度同窓会会計報告

平成9年度(平成9年4月1日~平成10年3月31日)

収入の部		支出の部		備考
科目		科目		
前期繰越	13,922,547	会報印刷	1,206,445	
入会金	75,000	通信費	738,374	
年会費	1,449,000	会合費	10,951	弁当等
受取利息	23,669	交際費	35,975	中元歳暮等
		寄付金	50,000	学園祭
		雑費	525	封筒
収入計	1,547,669	支出計	2,042,270	
		次期繰越	13,427,946	
収入合計	15,470,216	支出合計	15,470,216	

注記:

1. 平成10年3月卒業新会員の入会金は、平成10年5月に入金(1,119,000円)しております。
2. 今年度も、年会費のお振込みをよろしくお願い致します。<年会費金額2,000円>